

地上部街路の必要性のデータ (交通シミュレーション) について



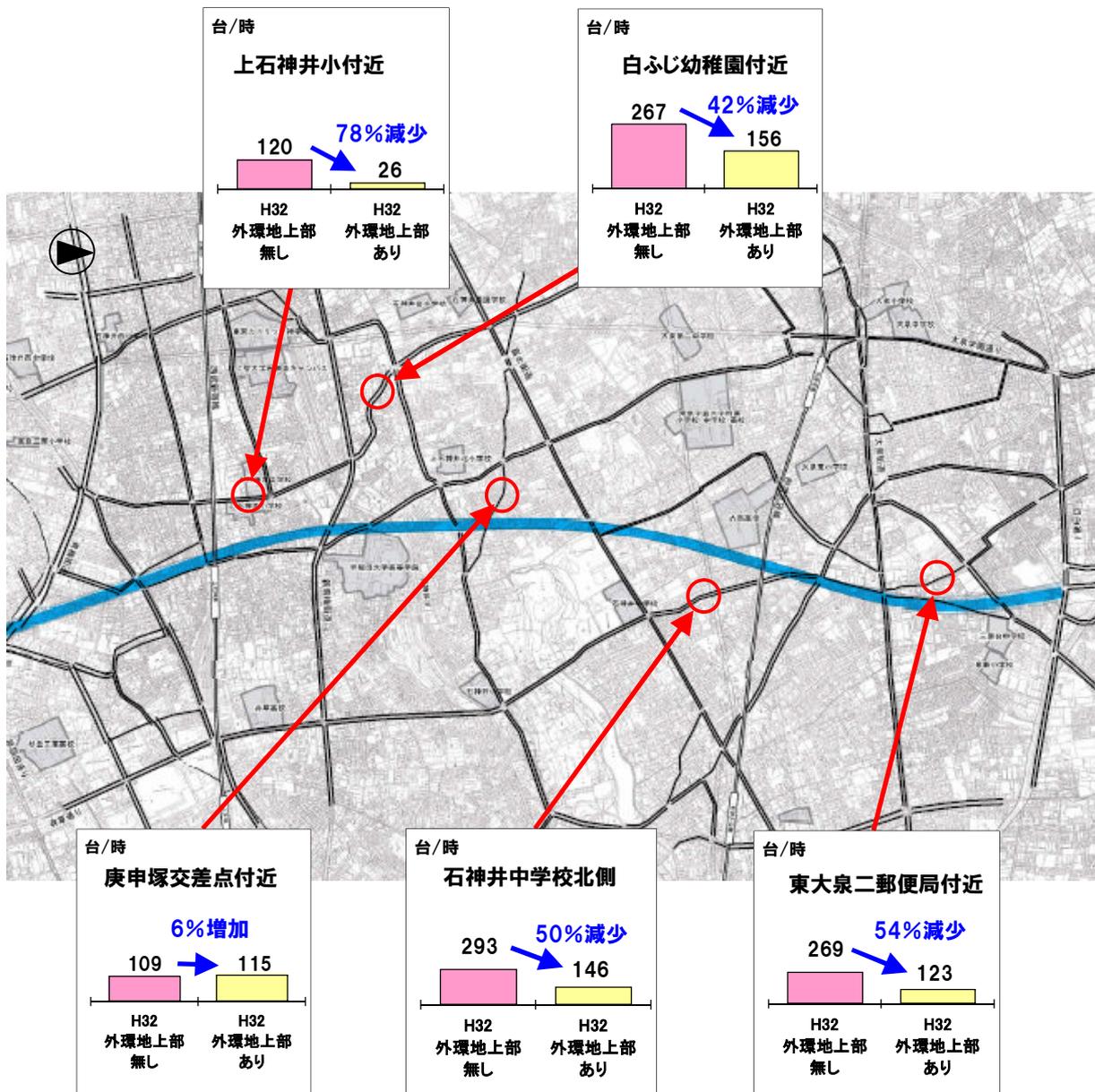
交通 地域的な視点 交通事故の減少、

日々の暮らしの安全性向上

生活道路に流入する通過交通の減少

◆地上部街路整備後(将来)の生活道路交通量の減少

朝ピーク (7時~8時) の交通量をシミュレーションを使って予測した結果、石神井中学校北側では、将来の地上部街路整備なしで 293 台、地上部街路が整備されると 146 台、上石神井小付近でも、将来の地上部街路整備なしで 120 台、地上部街路が整備されると 26 台と大きな交通減少が図られます。



・地上部街路が整備された場合、生活道路に流入している通過交通等が地上部街路等に転換することにより、生活道路の交通量減少が図られ、身近な道路の安全性の向上等が期待できます。